

2017年度

環境活動レポート

有限会社 芦名商会



イメージキャラクター
「じみモン」

対象期間 : 2017年4月1日~2018年3月31日

発行年月日 : 2018年8月18日

目 次

1 挨拶	2
2 環境方針	2
3 事業概要&認証登録範囲	3
4 実施体制	4
5 環境目標	5
6 環境活動計画	7
7 環境目標の実績	10
8 環境活動計画の評価	13
9 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無	16
10 代表者による全体評価と見直し結果	16
11 情報公開事項	17

1 挨拶

有限会社 芦名商会は、廃棄物収集運搬業ならびに発泡スチロールやペットボトルのプラスチックや空缶類の金属リサイクル業を行い、低炭素社会の実現と循環型社会の形成に寄与してまいります。また、地域社会に根差した事業運営を行い、環境企業としての責任を果たしてまいりますのでこれからも宜しくお願いいたします。

代表取締役 芦名 英樹

2 環境方針

《環境理念》

適正処理でお届けします 安心と笑顔

地球の資源には限りがあります！！
芦名商会では廃棄物を再資源化、減量化に取り組んでおります。限りある資源を大切にしましょう！！

今、私たちの地球は深刻な問題を抱えています。大量生産、大量消費の果ての大量廃棄。

今、地球は悲鳴を上げています。地球温暖化、大気汚染、水質汚濁、資源の枯渇、生物の絶滅などさまざまな問題を抱えています。このままでは、私たちの子孫にあたる次の世代には、今の地球環境はありません。

私たち(有)芦名商会は、地球環境にやさしい廃棄物の処理を考えて、また限りある資源の再利用、再資源化を考えて日々努力と研究をしています。

すべては次の世代のために・・・

《環境保全への行動指針》

- 1、事業活動に伴うCO2排出量の削減に取り組み、環境負荷の軽減に努めます。
- 2、廃棄物中間処理の受託量における使用電気量の削減に努めます。(単位:kgCO2/t)
- 3、事業場における省資源、省エネ、節水及びグリーン調達に努めます。
- 4、お客様に役立つ情報を提供できるように、取り組みや教育を通じ社員の資質を高めます。
- 5、事業活動に関連する法規制等は、確実に順守することを誓約いたします。
- 6、周辺自治会の資源回収の取り組みの協力や環境活動レポートの公表など、地域との環境コミュニケーションに努めます。

制定日：2016年4月1日
改訂日：2018年6月1日 改訂版

有限会社 芦名商会

代表取締役

芦名 英樹

3 事業概要&認証登録範囲

- 1 名称及び代表者名
 有限会社 芦名商会
 代表取締役 芦名 英樹
- 2 所在地
 本社 岩手県紫波郡矢巾町大字藤沢第10地割183番地2
 事業本部 同上
 中間処理施設 同上
 赤沢駐車場 岩手県紫波郡紫波町赤沢字下岡田41-6・42-3・34-4
 東見前駐車場 岩手県盛岡市東見前8地割24-2
- 3 環境管理責任者及び担当者連絡先
 環境管理責任者 事業部長 有坂 慎 TEL 697-3237
 実務者 事業本部長 和川 賢 TEL 697-3237
- 4 事業活動の内容
 一般廃棄物処理業、産業廃棄物処理業、一般及び産業廃棄物の再生、その再生品の販売、古物商及び美術工芸品の販売
- 5 事業規模 2017年度実績
 資本金 300万円
 売上高 320百万円
 部門別売上高

部門	朝コース課	日勤課	リサイクル課	事業本部
従業員(名)	9名	11名	5名	8名
売上高(百万円)	161	125	34	-

- 6 認証登録範囲
 事業本部、中間処理施設、赤沢駐車場、東見前駐車場
- 7 営業範囲
 産業廃棄物：岩手県・宮城県
 一般廃棄物：盛岡市・紫波町・矢巾町・滝沢市・雫石町・岩手町
- 8 社歴
 創立 昭和57年4月1日

『環境活動状況』



事業計画として取り組むEA21の全体説明会

日勤課による緊急事態訓練（荷崩れ防止対策）



4 実施体制

(1) 組織図



(2) 環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任。 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 環境管理責任者を任命。 代表者による全体の評価と見直しを実施。 環境方針の策定
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 責任者は常務取締役とし、事業本部(実務者)が召集する。 環境経営システムの構築、実施、管理。 環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) 不具合がある場合は是正処置の実施
事業本部(実務者)	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐。 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 従業員に対する教育訓練の実施 取組データの集計、取りまとめ及び文書記録類の管理。
各課 課長	<ul style="list-style-type: none"> 環境活動の取組結果を事業本部(実務者)に報告。 担当部門について環境経営システムを実施し、維持する。 省資源、省エネ、節水等の奨励・実施・確認・是正。
全社員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚し、能力向上に努める。 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

5 環境目標

1 主な環境負荷の実績

表1、主な環境負荷等の実績

項目		単位	2017年度
二酸化炭素排出量	中間処理電力の二酸化炭素排出量の削減(事業本部・中間処理施設)	kgCO ₂ /t	110
	電力の二酸化炭素排出量の削減(赤沢駐車場)	kgCO ₂	7,228
	ガソリン・軽油等の二酸化炭素の削減(事業本部/中間処理施設)	kgCO ₂	25,288
	軽油等の二酸化炭素の削減(赤沢駐車場)	kgCO ₂	389,420
	灯油、LPG等の二酸化炭素の削減(事業本部/中間処理施設)	kgCO ₂	1,870
	灯油の二酸化炭素の削減(赤沢駐車場)	kgCO ₂	648
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減(可燃ごみ)(事業本部)	kg	134
	一般廃棄物の削減(紙ごみ)(事業本部)	kg	120
	産業廃棄物の削減(廃エンジンオイル)	ℓ	300
総排水量	節水	m ³	784
環境配慮製品	受託した産業廃棄物のリサイクル率100%維持	%	100
サービス	環境苦情	件	0
グリーン調達	事務用品	品種	17以上
社員教育	E A21取組み教育	回	2
	資質向上教育	回	2
地域貢献	自治体資源回収	回	6

購入電力の二酸化炭素排出係数は、2015年11月公表の東北電力の実排出係数0.571kg-CO₂/kwhを使用

2 環境目標の設定

当社では、2015年度を基準年度として中期及び単年度の環境目標を、それぞれ表2のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

表2 環境目標

基準年度(2015年度)比の削減率

項目	単位	2015年度	中期目標(内単年度目標)					
		基準値	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
二酸化炭素排出量	中間処理電力の二酸化炭素排出量の削減(事業本部・中間処理施設)	削減率% kgCO ₂ /t	120	-1	-2	-3	-4	-5
	電力の二酸化炭素排出量の削減(赤沢駐車場)	削減率% kgCO ₂	12,785	119	118	116	115	114
	ガソリン・軽油等の二酸化炭素の削減(事業本部/中間処理施設)	削減率% kgCO ₂	55,574	-1	-2	-3	-4	-5
	軽油等の二酸化炭素の削減(赤沢駐車場)	削減率% kgCO ₂	419,005	414,815	410,625	406,435	402,245	398,055
	灯油、LPG等の二酸化炭素の削減(事業本部/中間処理施設)	削減率% kgCO ₂	4,572	4,526	4,480	4,434	4,389	4,343
	灯油の二酸化炭素の削減(赤沢駐車場)	削減率% kgCO ₂	7,404	7,330	7,256	7,182	7,108	7,034
	廃棄物排出量	一般廃棄物の削減(可燃ごみ)(事業本部)	削減率% kg	260	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
一般廃棄物の削減(紙ごみ)(事業本部)		削減率% kg	362	362	362	362	362	362
産業廃棄物の削減(廃エンジンオイル)		削減率% ℓ	600	600	600	600	600	600
総排水量	節水	削減率% m ³	1,282	-1	-2	-3	-4	-5
環境配慮製品	受託した産業廃棄物のリサイクル率100%維持	増加率% %	100	0を維持	0を維持	0を維持	0を維持	0を維持
サービス	環境苦情	件	0	0	0	0	0	0
グリーン調達	事務用品	品種	10	リストの増加 12以上	リストの増加 17	リストの増加 17	リストの増加 17	リストの増加 17
社員教育	E A21 取組み教育	回	0	2	2	2	2	2
	資質向上教育	回	2	2	2	2	2	2
地域貢献	自治体資源回収	回	6	現状維持 6	現状維持 6	現状維持 6	現状維持 6	現状維持 6

6 環境活動計画

当社では、環境方針に基づき二酸化炭素、廃棄物、水使用量を削減し、環境目標を達成するため、従業員が一丸となって省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル及び節水等に取組んでおります。(期間： 2017年4月～2018年3月)

表3 主な環境活動計画の内容と取組結果

事業本部

項目	取組内容	責任者	評価					満点	達成率	
			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	合計			
二酸化炭素排出量削減	電力の二酸化炭素排出量の削減	総務有坂	照明							
			①昼休みなど、部屋を使用していない時は、照明消灯を確実に実行する	6	6	6	6	24	24	100%
			②会議室、給湯室、社員用トイレ、倉庫、更衣室等不必要な時は、消灯している。	6	6	6	6	24	24	100%
			③事務室の部分照明を実行する。	6	6	6	6	24	24	100%
			④照明器具については、定期的な清掃、交換を行う等、適正に管理している。	6	6	6	6	24	24	100%
			冷暖房							
			①冷暖房の温度（冷房28℃、暖房20℃）を順守する。	6	6	6	6	24	24	100%
			②エアコンのフィルターの清掃を定期的（最低、毎月1回）に行う。	6	6	6	6	24	24	100%
			③空調を必要な区域・時間帯に限定する。	6	6	6	6	24	24	100%
			④使用していない部屋は、空調を停止している	6	6	6	6	24	24	100%
			⑤ドアの開け放しはしない。	6	6	6	6	24	24	100%
			設備の節電							
	①残業の時は、必要な箇所のみ点灯し、業務に必要な箇所は消灯する。	6	6	6	6	24	24	100%		
	②昼休みなど、休憩時、不必要な箇所は消灯する。パソコンの電源は切る。	6	6	6	6	24	24	100%		
	③退社時は、OA機器の待機電源は切る。	6	6	6	6	24	24	100%		
	自動車燃料等の二酸化炭素削減	営業河部	【エコドライブ運動の展開】							
			①車両のアイドリングストップを実践する。	6	6	6	6	24	24	100%
			②急発進・急加速はしない。	6	6	6	6	24	24	100%
③空ぶかしはしない。			6	6	6	6	24	24	100%	
④冷暖房の控えめ使用			6	6	6	6	24	24	100%	
⑤最大積載量に見合った輸送単位の設定を行う。			6	6	6	6	24	24	100%	
⑥車両のタイヤローテーションを計画的に行う。			6	6	6	6	24	24	100%	
⑦ハイブリッド車や低公害車への切り替えに取組んでいる。	6	6	6	6	24	24	100%			
灯油・LPG等の二酸化炭素削減	総務有坂	冷暖房								
		①冷暖房の温度（冷房28℃、暖房20℃）を順守する。	6	6	6	6	24	24	100%	
廃棄物の排出量抑制	総務有坂	【コピー用紙の使用量を抑制する】								
		①両面印刷、コピーを徹底する。	6	6	6	6	24	24	100%	
		②コピーをする前に、コピー機の設定の確認を行い、ミスコピーを減らす	6	6	6	6	24	24	100%	
		③コピーは最小限の枚数を行い、余分なコピーは行わない	6	6	6	6	24	24	100%	
		④使用済み用紙(片面コピー)の裏面を利用する。	6	6	6	6	24	24	100%	
		【紙の分別を行う】								
		①個人情報等を含んだ書類はシュレッダー処理を行うが、シュレッダーする前に分別を行う。	6	6	6	6	24	24	100%	
		②分別されたシュレッダーごみは資源回収業者へ引き渡す。	6	6	6	6	24	24	100%	
		③使用済みコピー用紙、段ボール、雑誌、新聞紙等は、所定の場所に分別保管する。	6	6	6	6	24	24	100%	
		【紙は資源回収業者に引き渡す】								
		①分別した紙ごみは、再生資源業者に引き渡し、リサイクルする。	6	6	6	6	24	24	100%	
		【コンピュータ等OA機器の導入により事務を高度化する】								
		①電子メール等を利用し紙を削減する	6	6	6	6	24	24	100%	
		②パソコンで社内ネットワークを構築し、文書を共有する	6	6	6	6	24	24	100%	
		③文書の共有により、不要な印刷物を削減する	6	6	6	6	24	24	100%	
		【その他】								
		①商品や郵便や宅配便等の包装は、できるだけ簡易なものを選ぶ	6	6	6	6	24	24	100%	
		②不要なダイレクトメールは「受取拒否」する	6	6	6	6	24	24	100%	
		③オフィス用紙には、できるだけ再生紙を購入し、使用する	6	6	6	6	24	24	100%	
		【廃棄物の発生を抑える】								
①ゴミ箱の中に紙などを混入させないなど、廃棄物の分別を徹底する。	6	6	6	6	24	24	100%			
【オフィス等におけるリサイクルの促進】										
①紙・金属缶等は、所定の保管容器に確実に分別する。	6	6	6	6	24	24	100%			
②コピー機のトナーカートリッジの回収、リサイクルを推進する。	6	6	6	6	24	24	100%			

	産業廃棄物 (建設副産物)の削減	①廃油、廃プラスチック、金属くず、ガラスくずなどは所定の置場に分別保管する。	総務有坂	6	6	6	6	24	24	100%
		②飛散、漏洩、悪臭、印象など、保管の状態に問題がないよう適正な管理を行う。		6	6	6	6	24	24	100%
		③産業廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正な処理を行う。		6	6	6	6	24	24	100%
節水	水道水の削減(節水)	①洗車時の無駄水の防止(ストップノズル取付)に努める。	総務有坂	6	6	6	6	24	24	100%
		②蛇口の水漏れがないか確認する。		6	6	6	6	24	24	100%
		③トイレ用水の節約に努める。		6	6	6	6	24	24	100%
		④水道水を出しすぎない。		6	6	6	6	24	24	100%
		⑤水道を流しながら使用しない。		6	6	6	6	24	24	100%
		⑥節水の表示を行う		6	6	6	6	24	24	100%
		⑦場内側溝などの油分、ゴミなどの浮遊物を除去する。		6	6	6	6	24	24	100%
		⑧油水分離槽などは、適切な管理に努める。		6	6	6	6	24	24	100%
		⑨事故防止や汚染防止のためにウエス、吸着マットなどは、適切に保管する。		6	6	6	6	24	24	100%
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	グリーン購入	①事務用品購入の際は、グリーン購入対象商品を優先的に選択する。	総務有坂	6	6	6	6	24	24	100%
	社員教育	⑤エコアクション21の取り組みを通して、社内で毎月の取り組み状況報告を行い、環境活動への意識向上を図る。	総務有坂	6	6	6	6	24	24	100%
	地域活動	①周辺地域の自治会の資源回収への取り組みに協力する。	部長和川	6	6	6	6	24	24	100%

表3 主な環境活動計画の内容と取組結果

項目	取組内容	責任者	評価							
			4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	合計	満点	達成率	
二酸化炭素排出量削減	電力の二酸化炭素排出量の削減	照明	課長伊東							
		①昼休みなど、部屋を使用していない時は、照明消灯を確実に実行する		6	6	6	6	24	24	100%
		②会議室、給湯室、社員用トイレ、倉庫、更衣室等不必要な時は、消灯している。		6	6	6	6	24	24	100%
		③照明器具については、定期的な清掃、交換を行う等、適正に管理している。		6	6	6	6	24	24	100%
		冷暖房								
		①エアコンのフィルターの清掃を定期的(最低、毎月1回)に行う。		6	6	6	6	24	24	100%
		②空調を必要な区域・時間帯に限定する。		6	6	6	6	24	24	100%
		③使用していない部屋は、空調を停止している		6	6	6	6	24	24	100%
		④ドアの開け放しはしない。		6	6	6	6	24	24	100%
	設備の節電									
	①残業の時は、必要な箇所のみ点灯し、業務に必要なない箇所は消灯する。	6	6	6	6	24	24	100%		
	②昼休みなど、休憩時、不必要な箇所は消灯する。パソコンの電源は切る。	6	6	6	6	24	24	100%		
	自動車燃料等の二酸化炭素削減	【エコドライブ運動の展開】	部長和川							
		①車両のアイドリングストップを実践する。		6	6	6	6	24	24	100%
		②急発進・急加速はしない。		6	6	6	6	24	24	100%
		③空ぶかしはしない。		6	6	6	6	24	24	100%
		④冷暖房の控えめ使用		6	6	6	6	24	24	100%
		⑤最大積載量に見合った輸送単位の設定を行う。		6	6	6	6	24	24	100%
	⑥車両のタイヤローテーションを計画的に行う。	6	6	6	6	24	24	100%		
	灯油・LPG等の二酸化炭素削減	冷暖房	課長伊東							
		①冷暖房の温度(冷房28℃、暖房20℃)を順守する。		6	6	6	6	24	24	100%
		【紙は資源回収業者に引き渡す】								
		①分別した紙ごみは、再生資源業者に引き渡し、リサイクルする。		6	6	6	6	24	24	100%
		【廃棄物の発生を抑える】								
①ゴミ箱の中に紙などを混入させないなど、廃棄物の分別を徹底する。	6	6	6	6	24	24	100%			
産業廃棄物(建設副産物)の削減	【オフィス等におけるリサイクルの促進】	部長和川								
	①紙・金属缶等は、所定の保管容器に確実に分別する。		6	6	6	6	24	24	100%	
	①廃油、廃プラスチック、金属くず、ガラスくずなどは所定の置場に分別保管する。		6	6	6	6	24	24	100%	
節水	水道水の削減(節水)	②飛散、漏洩、悪臭、印象など、保管の状態に問題がないよう適正な管理を行う。	課長伊東	6	6	6	6	24	24	100%
		③産業廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正な処理を行う。		6	6	6	6	24	24	100%
		①洗車時の無駄水の防止(ストップノズル取付)に努める。		6	6	6	6	24	24	100%
		②蛇口の水漏れがないか確認する。		6	6	6	6	24	24	100%
		③トイレ用水の節約に努める。		6	6	6	6	24	24	100%
		④水道水を出しすぎない。		6	6	6	6	24	24	100%
		⑤水道を流しながら使用しない。		6	6	6	6	24	24	100%
		⑥節水の表示を行う		6	6	6	6	24	24	100%
		⑦場内側溝などの油分、ゴミなどの浮遊物を除去する。		6	6	6	6	24	24	100%
⑧油水分離槽などは、適切な管理に努める。	6	6	6	6	24	24	100%			
⑨事故防止や汚染防止のためにウエス、吸着マットなどは、適切に保管する。	6	6	6	6	24	24	100%			
社員教育	⑤エコアクション21の取り組みを通して、社内で毎月の取り組み状況報告を行い、環境活動への意識向上を図る。	総務有坂	6	6	6	6	24	24	100%	
	施設・設備	①カラ運転の抑制	課長伊東	6	6	6	6	24	24	100%
②重機などのアイドリングは効率よく行う。		6		6	6	6	24	24	100%	
③騒音、振動等を発生させないよう作業方法、時間帯等に配慮する。		6		6	6	6	24	24	100%	
④粉じん防止のため、適切に散水等を行う。		6		6	6	6	24	24	100%	
⑤悪臭が発生する恐れがある作業を行う場合は、作業方法等に配慮する。		6		6	6	6	24	24	100%	

表3 主な環境活動計画の内容と取組結果

赤沢駐車場

項目	取組内容	責任者	評価								
			4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	合計	満点	達成率		
二酸化炭素排出量削減	電力の二酸化炭素排出量の削減	照明									
		①人が居ない時は、照明消灯を確実に実行する	6	6	6	6	24	24	100%		
		冷暖房									
		①エアコンのフィルターの清掃を定期的（最低、毎月1回）に行う。	6	6	6	6	24	24	100%		
		②冷房の温度（冷房28℃、暖房20度）を順守する。	5	6	6	5					
		③空調を必要な区域・時間帯に限定する。	6	6	6	6	24	24	100%		
		④使用していない部屋は、空調を停止している	6	6	6	6	24	24	100%		
	⑤ドアの開け放しはしない。	6	6	6	6	24	24	100%			
	設備の節電										
	①残業の時は、必要な箇所のみ点灯し、業務に必要なない箇所は消灯する。	6	6	6	6	24	24	100%			
	自動車燃料等の二酸化炭素削減	【エコドライブ運動の展開】									
		①車両のアイドリングストップを実践する。	6	6	6	6	24	24	100%		
		②急発進・急加速はしない。	6	6	6	6	24	24	100%		
		③空ぶかしはしない。	6	6	6	6	24	24	100%		
		④冷暖房の控えめ使用	6	6	6	6	24	24	100%		
		⑤最大積載量に見合った輸送単位の設定を行う。	6	6	6	6	24	24	100%		
		⑥車両のタイヤローテーションを計画的に行う。	6	6	6	6	24	24	100%		
	灯油・LPG等の二酸化炭素削減	冷暖房									
		①冷暖房の温度（冷房28℃、暖房20℃）を順守する。	6	6	6	6	24	24	100%		
	一般廃棄物の削減	【FAX用紙の使用量を抑制する】									
		①FAXは最小限の枚数を行い、余分なFAXは行わない。	6	6	6	6	24	24	100%		
		②使用済み用紙（FAX）の裏面を利用する。	6	6	6	6	24	24	100%		
		【紙の分別を行う】									
		①分別されたシュレッダーごみは資源回収業者へ引き渡す。	6	6	6	6	24	24	100%		
		②使用済みコピー用紙、段ボール、雑誌、新聞紙等は、所定の場所に分別保管する。	6	6	6	6	24	24	100%		
		【紙は資源回収業者に引き渡す】									
		①分別した紙ごみは、再生資源業者に引き渡し、リサイクルする。	6	6	6	6	24	24	100%		
【その他】											
①FAX用紙には、できるだけ再生紙を使用する。		6	6	6	6	24	24	100%			
産業廃棄物（建設副産物）の削減	【廃棄物の発生を抑える】										
	①ゴミ箱の中に紙などを混入させないなど、廃棄物の分別を徹底する。	6	6	6	6	24	24	100%			
	【オフィス等におけるリサイクルの促進】										
	①紙・金属缶等は、所定の保管容器に確実に分別する。	6	6	6	6	24	24	100%			
	②廃油、廃プラスチック、金属くず、ガラスくずなどは所定の置場に分別保管する。	6	6	6	6	24	24	100%			
	③飛散、漏洩、悪臭、印象など、保管の状況に問題がないよう適正な管理を行う。	6	6	6	6	24	24	100%			
	④産業廃棄物管理票（マニフェスト）をもとに廃棄物の適正な処理を行う。	6	6	6	6	24	24	100%			
節水	水道水の削減（節水）	①蛇口の水漏れがないか確認する。	6	6	6	6	24	24	100%		
		②トイレ用水の節約に努める。	6	6	6	6	24	24	100%		
		③水道水を出しすぎない。	6	6	6	6	24	24	100%		
		④水道を流しながら使用しない。	6	6	6	6	24	24	100%		
		⑤節水の表示を行う	6	6	6	6	24	24	100%		
		⑥場内側溝などの油分、ゴミなどの浮遊物を除去する。	6	6	6	6	24	24	100%		
		⑦事故防止や汚染防止のためにウエス、吸着マットなどは、適切に保管する。	6	6	6	6	24	24	100%		
社員教育	①エコアクション21の取り組みを通じて、社内で毎月取り組み状況報告を行い、関係活動への感想向上を図る。	岡野戸名	6	6	6	6	24	24	100%		
	施設・設備	①電力不要時の負荷遮断、変圧器の遮断を行う。		6	6	6	6	24	24	100%	
②カラ運転の抑制			6	6	6	6	24	24	100%		
③重機などのアイドリングは効率よく行う。		課長吉田	6	6	6	6	24	24	100%		
④騒音、振動等を発生させないよう作業方法、時間帯等に配慮する。			6	6	6	6	24	24	100%		
⑤廃油タンク付近の清掃			6	6	6	6	24	24	100%		

7 環境目標の実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。

今回は、エコアクション21を開始した2017年4月から2018年3月までの実績についての評価結果を表4のとおり報告いたします。

(以下、評価結果等について簡潔にコメントします)。

表4 当該年度の環境目標の達成状況等

エコアクション21 (環境活動) 取り組み状況 2018年 3月現在															有限会社 芦名商会	
事業本部・中間処理施設															作成 : 2017年4月14日	
使用電力(kwh)															作成者 : 吳務者 和川	
2017年度 削減目標 2 %削減															最終更新日: 2018年4月12日	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計		
基準年 2015	8,677	7,590	8,959	9,308	9,852	8,921	8,045	8,838	9,860	10,352	10,181	9,314	9,158.1	109,897		
2017目標値	8,503	7,438	8,780	9,122	9,655	8,743	7,884	8,661	9,663	10,145	9,977	9,128	8,974.9	107,699		
2017実績値	8,334	7,308	7,443	8,396	8,726	8,678	7,232	7,614	8,323	9,400	8,639	7,590	8,140.3	97,683		
目標-実績	1,636				1,720		3,039				3,621		835			
赤沢駐車場																
使用電力(kwh)																
2017年度 削減目標 2 %削減																
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計		
基準年 2015	2,332	1,744	1,648	1,907	1,761	1,363	1,791	1,748	1,934	2,576	1,943	1,644	1,865.9	22,391		
2017目標値	2,285	1,709	1,615	1,869	1,726	1,336	1,755	1,713	1,895	2,524	1,904	1,611	1,828.5	21,942		
2017実績値	1,280	1,272	1,085	1,130	1,364	867	634	798	922	1,203	1,092	1,011	1,054.8	12,658		
目標-実績	1,972				1,570		3,009				2,733		774			
使用ガソリン(L)-事業本/中間処理																
2017年度 削減目標 2 %削減																
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計		
基準年 2015	1,172	982	1,076	1,120	1,300	889	1,210	979	1,304	1,120	1,003	1,310	1,122.1	13,466		
2017目標値	1,149	962	1,054	1,097	1,274	872	1,186	960	1,278	1,098	983	1,284	1,099.8	13,197		
2017実績値	791	1,040	886	882	826	660	782	613	718	616	495	526	736.2	8,835		
目標-実績	448				875		1,311				1,728		364			
使用軽油(L)-事業本/中間処																
2017年度 削減目標 2 %削減																
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計		
基準年 2015	0	200	0	181	147	193	200	0	200	200	197	0	126.6	1,519		
2017目標値	0	196	0	177	144	189	196	0	196	196	193	0	123.9	1,487		
2017実績値	170	170	180	100	150	180	180	180	0	180	150	180	151.7	1,820		
目標-実績	-324				80		32				-121		-28			
使用軽油(L)-赤沢駐車場																
2017年度 削減目標 2 %削減																
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計		
基準年 2015	13,943	13,313	13,453	13,957	13,245	12,277	13,257	12,545	14,282	13,070	12,638	13,681	13,305.1	159,661		
2017目標値	13,665	13,046	13,184	13,678	12,980	12,031	12,992	12,294	13,996	12,809	12,385	13,407	13,038.9	156,467		
2017実績値	11,992	12,030	12,528	12,903	12,869	12,410	11,854	12,411	12,934	12,422	11,478	12,558	12,365.7	148,388		
目標-実績	3,346				507		2,083				2,143		673			
使用灯油(L)-事業本/中間処																
2017年度 削減目標 2 %削減																
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計		
基準年 2015	81	0	0	0	0	0	160	125	567	214	360	0	125.5	1,506		
2017目標値	80	0	0	0	0	0	157	122	555	210	353	0	123.1	1,477		
2017実績値	0	0	0	0	0	0	0	0	180	180	280	100	61.7	740		
目標-実績	80				0		654				3		61			
使用灯油(L)-赤沢駐車場																
2017年度 削減目標 2 %削減																
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計		
基準年 2015	517	0	0	0	0	0	100	100	100	164	185	0	97.2	1,166		
2017目標値	507	0	0	0	0	0	98	98	98	161	181	0	95.3	1,143		
2017実績値	0	0	0	0	0	0	0	0	180	0	0	80	21.7	260		
目標-実績	507				0		114				262		74			
使用LPG(kg)-事業本/中間処																
2017年度 削減目標 2 %削減																
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計		
基準年 2015	1.45	1.45	1.45	1.45	0.41	0.83	1.86	2.28	2.28	2.28	2.07	2.07	1.66	19.87		
2017目標値	1.42	1.42	1.42	1.42	0.40	0.81	1.82	2.23	2.23	2.23	2.02	2.02	1.62	19.47		
2017実績値	0.62	0.62	0.62	0.62	0.41	0.62	0.62	1.04	0.41	1.04	1.24	0.83	0.72	8.69		
目標-実績	2.40				0.97		4.21				3.17		1			

事業本部・中間処理施設		2017年度 削減目標		2		%削減								
リサイクルにおける二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂ /t)		電力換算係数		0.571		東北電力の2015年度排出係数を採用								
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計
基準年 2015	12309	10926	11527	12386	10964	11517	10204	13407	14970	13715	16562	11615	125.1	1501
2017目標値	12063	10707	11297	12138	10744	11286	10000	13139	14670	13440	16231	11382	122.6	1471
2017実績値	12072	10448	8806	11352	10009	11031	12416	12507	13961	15680	16163	125.11	122.5	1470
目標-実績	27				18								-33	

事業本部・中間処理施設		電力換算係数		0.571		東北電力の2015年度排出係数を採用											
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)		軽油換算係数		2.62		ガソリン換算係数		2.32		灯油換算係数		2.49		LPG換算係数		3.00	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計			
基準年 2015	7883	7141	7617	8393	9031	7667	8331	7638	10600	9576	9563	8366	3254.6	101,806			
2017目標値	7726	6998	7465	8224	8849	7514	8166	7485	10388	9386	9371	8199	8314.2	99,771			
2017実績値	7042	7034	6781	7105	7294	6962	6420	6246	6869	7722	7176	6279	6910.7	82,928			
目標-実績	1333				3226				6505				5,779		1404		

赤沢駐車場		電力換算係数		0.571		東北電力の2015年度排出係数を採用										
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)		軽油換算係数		2.62		灯油換算係数		2.49								
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計		
基準年 2015	39159	35882	36196	37663	35714	32950	36012	34121	38780	36130	34689	36790	36173.8	434,086		
2017目標値	38378	35163	35471	36911	35000	32290	35292	33439	38003	35409	33993	36053	35450.2	425,402		
2017実績値	32156	32250	33449	34459	34502	33015	31426	32978	34369	33239	30702	33684	33060.8	396,729		
目標-実績	11,157				2,225				7,461				7,830		2,389	

水道使用量 (m ³)		2017年度 削減目標		2		%削減										
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計		
基準年 2015	76	92	77	89	111	107	99	124	133	113	149	112	106.8	1282		
2017目標値	74	90	75	87	109	105	97	122	130	111	146	110	104.7	1256		
2017実績値	49	100	74	95	78	60	60	52	62	53	54	47	65.3	784		
目標-実績	16				68				175				213		39	

一般廃棄物 (灰部+最終処分) 排出量 事業本部可燃ごみ (kg)		2017年度 削減目標		現状維持		%削減										
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計		
基準年 2015	200	250	200	250	250	200	250	200	200	200	200	200	21.7	2600		
2017目標値	200	250	200	250	250	200	250	200	200	200	200	200	21.7	2600		
2017実績値	130	134	106	116	129	80	79	128	130	95	129	80	11.1	1336		
目標-実績	280				375				313				296		11	

一般廃棄物 (灰部+最終処分) 排出量 事業本部 紙ごみ (kg)		2017年度 削減目標		現状維持		%削減										
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計		
基準年 2015	320	280	300	320	280	310	280	300	280	320	320	310	30.2	3620		
2017目標値	320	280	300	320	280	310	280	300	280	320	320	310	30.2	3620		
2017実績値	100	158	113	62	86	125	46	110	100	76	132	90	10.0	1198		
目標-実績	529				63.7				60.4				65.2		20	

産業廃棄物 (灰部+最終処分) 排出量 原エンジンオイル (t)		2017年度 削減目標		現状維持		%削減										
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計		
基準年 2015	0.00	0.00	0.00	0.00	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05	0.60		
2017目標値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05	0.60		
2017実績値	0.00	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.30		
目標-実績	-0.30				0.60				0.00				0.00		0	

受託した産業廃棄物のリサイクル率100%維持		2017年度 削減目標		100		%維持										
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計		
基準年 2015	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1200		
2017目標値	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1200		
2017実績値	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1200		
目標-実績	0				0				0				0		0	

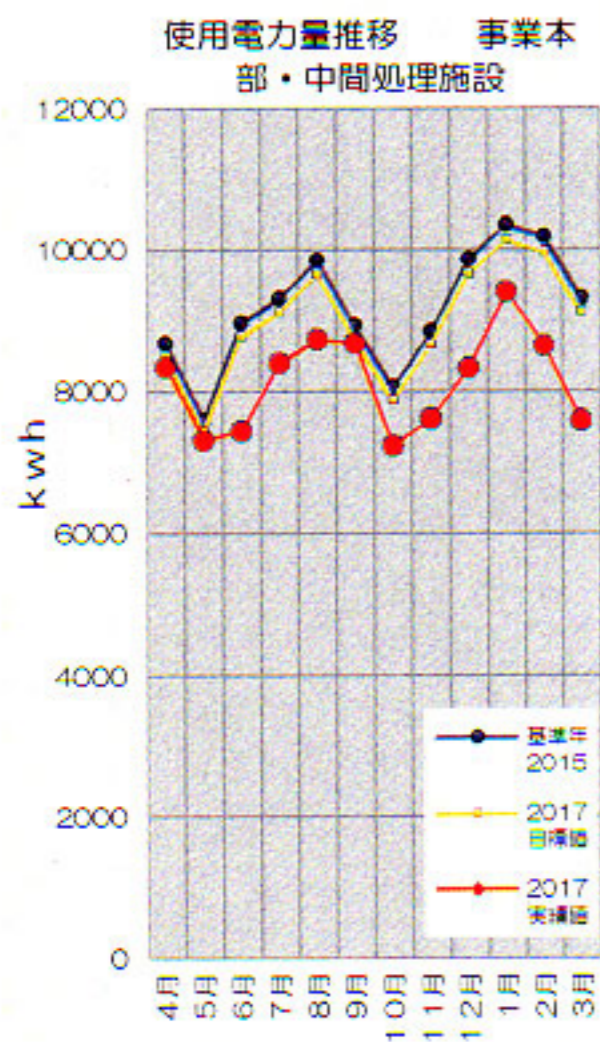
環境苦情		2017年度 削減目標		0を維持		%増加										
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	計		
基準年 2015	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
2017目標値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
2017実績値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
目標-実績	0				0				0				0		0	

グリーン調達	2017年度 削減目標												平均	計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
基準年 2015	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
2017目標値	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
2017実績値	17	17	17	17	26	26	26	28	28	28	28	28	28	24	286
目標-実績	0			0			9			11			7		

9. 環境保全・地域活性化活動、社員教育・訓練

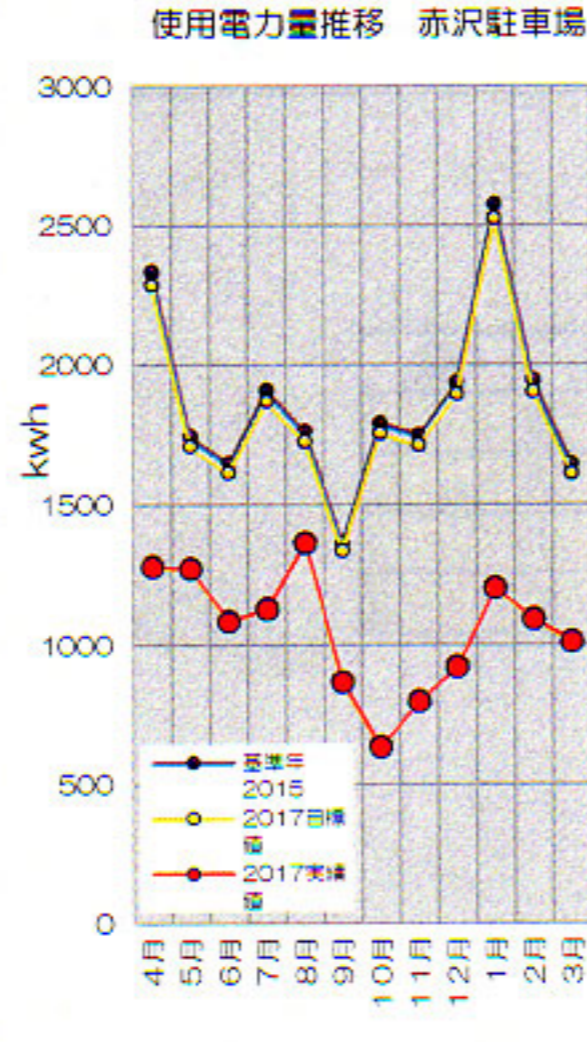
項目	備考	目標値	実績値
社員教育	EA21取組み教育(回)/年間	2	2
	資質向上教育(回)/年間	2	2
緊急事態の訓練	消防避難訓練(回)/年間	1	1
地域の環境保全活動	自治体資源回収/年間	6	11

8 環境活動計画の評価



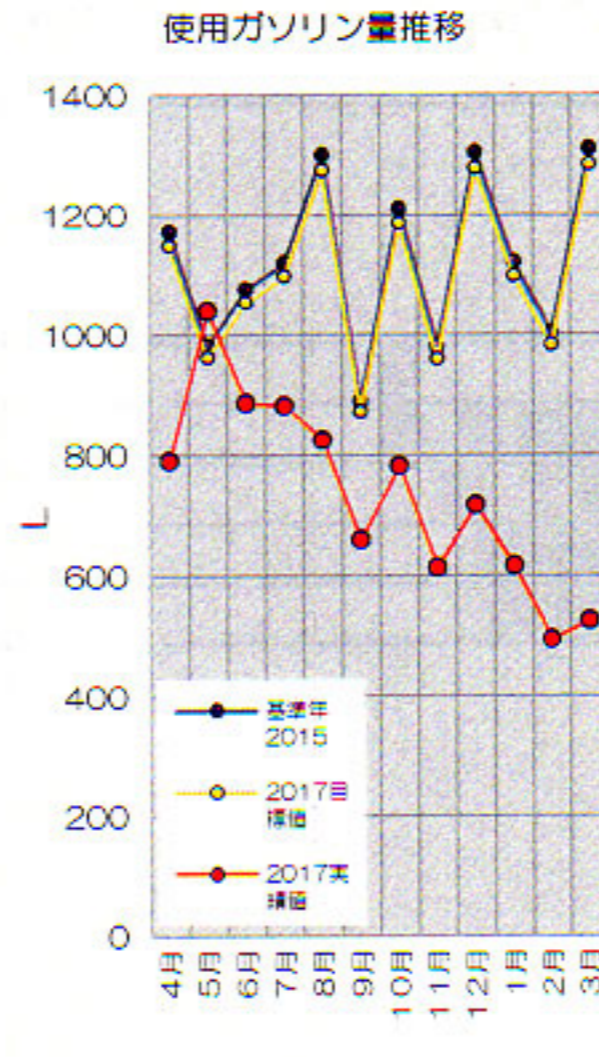
評価
達成

年間を通して、事務所の節電ならびに中間処理施設のムダな稼働をしないよう心掛けた結果だと感じる。



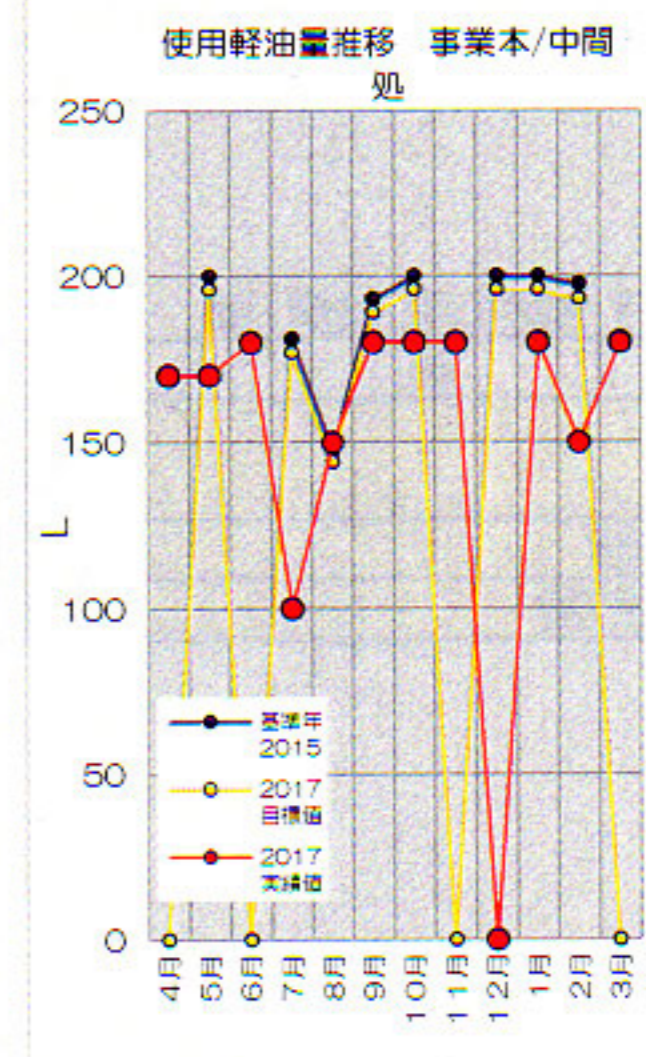
評価
達成

5月より駐車灯の使用量が0kwhとなった。(社長が最上段の駐車場のブレーカーを切った)
さらに、9月には赤沢の道路沿い門扉灯(水銀灯)3つ全て



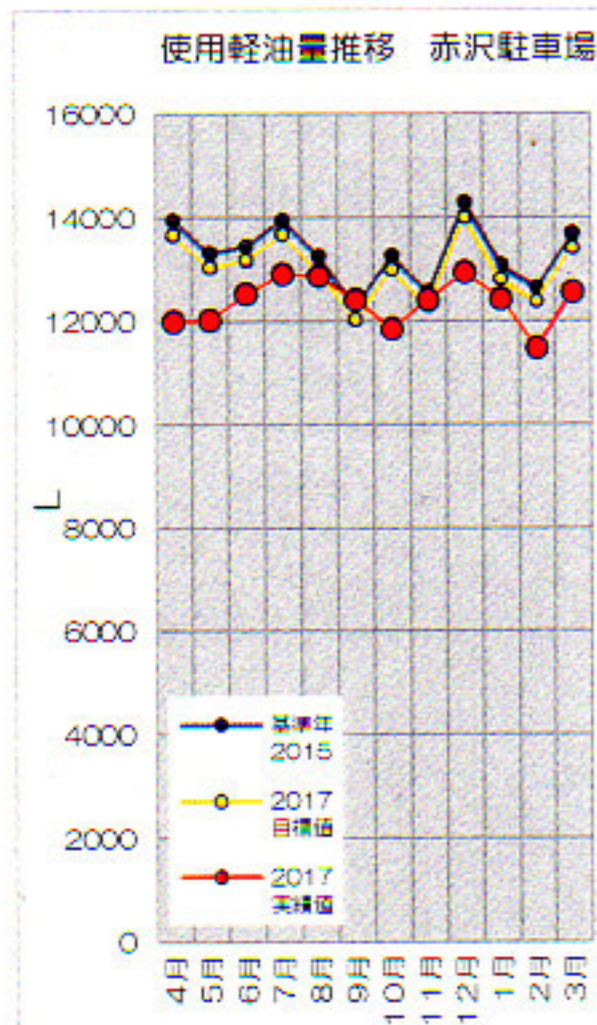
評価
達成

各人が結果を意識して行動していたと感じる。



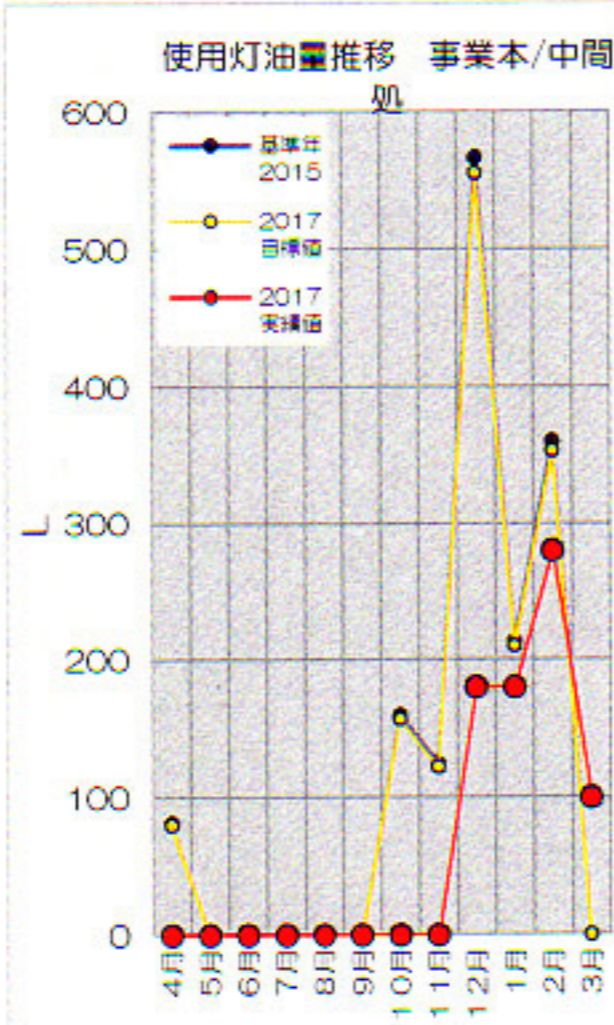
評価
達成

3か月連続での未達は無かった為、是正処置は行わなかったが、年間使用量的には前年を上回っているため、今後の使用量を注視していく。



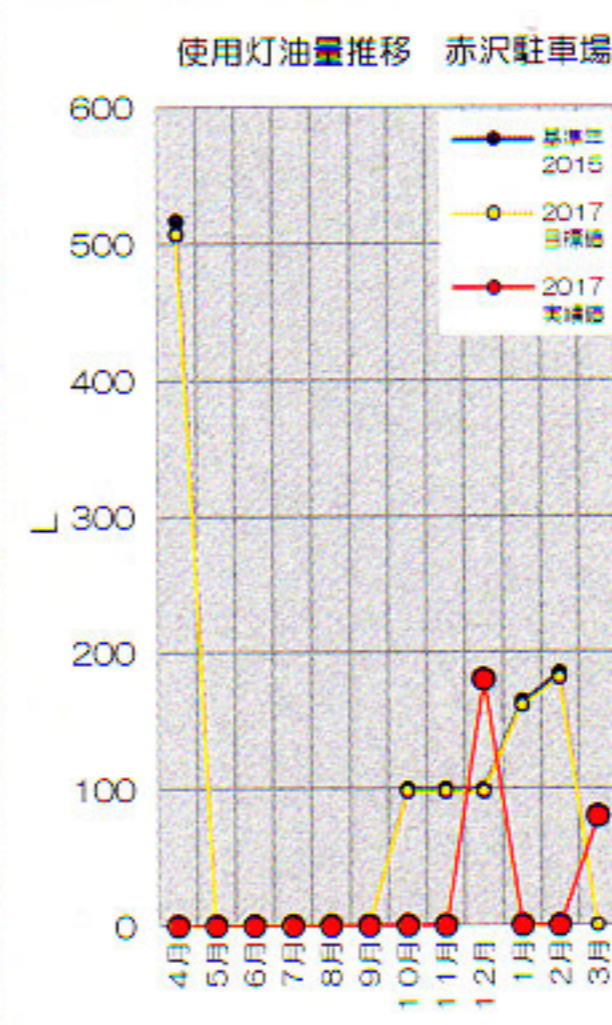
評価
達成

各人が意識して行動した結果だと感じる。



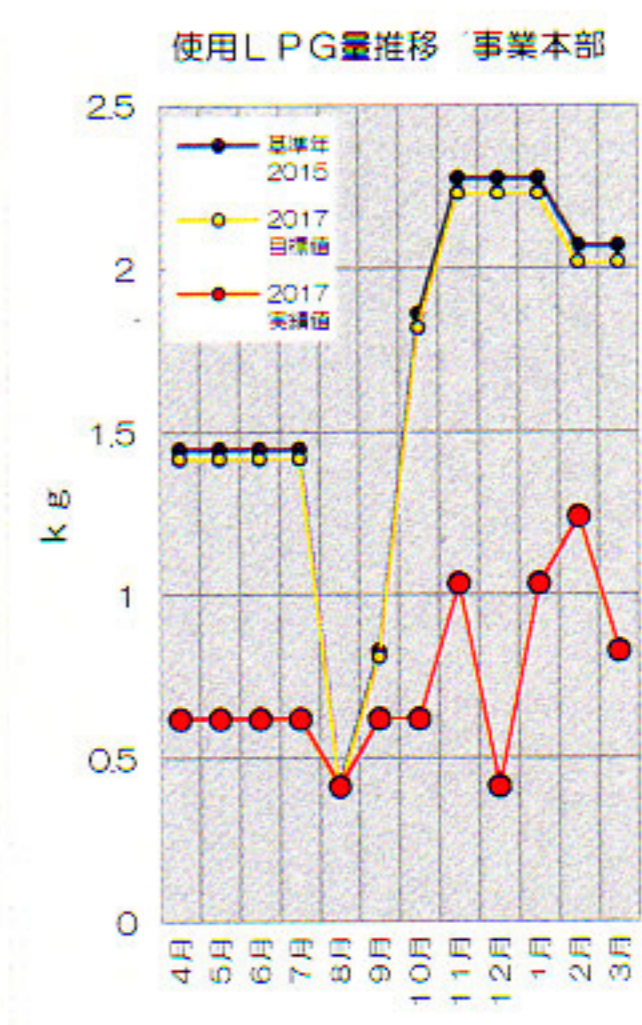
評価
達成

総務課が、石油ストーブの使用をこまめに管理していることが奏功したと感じる。



評価
達成

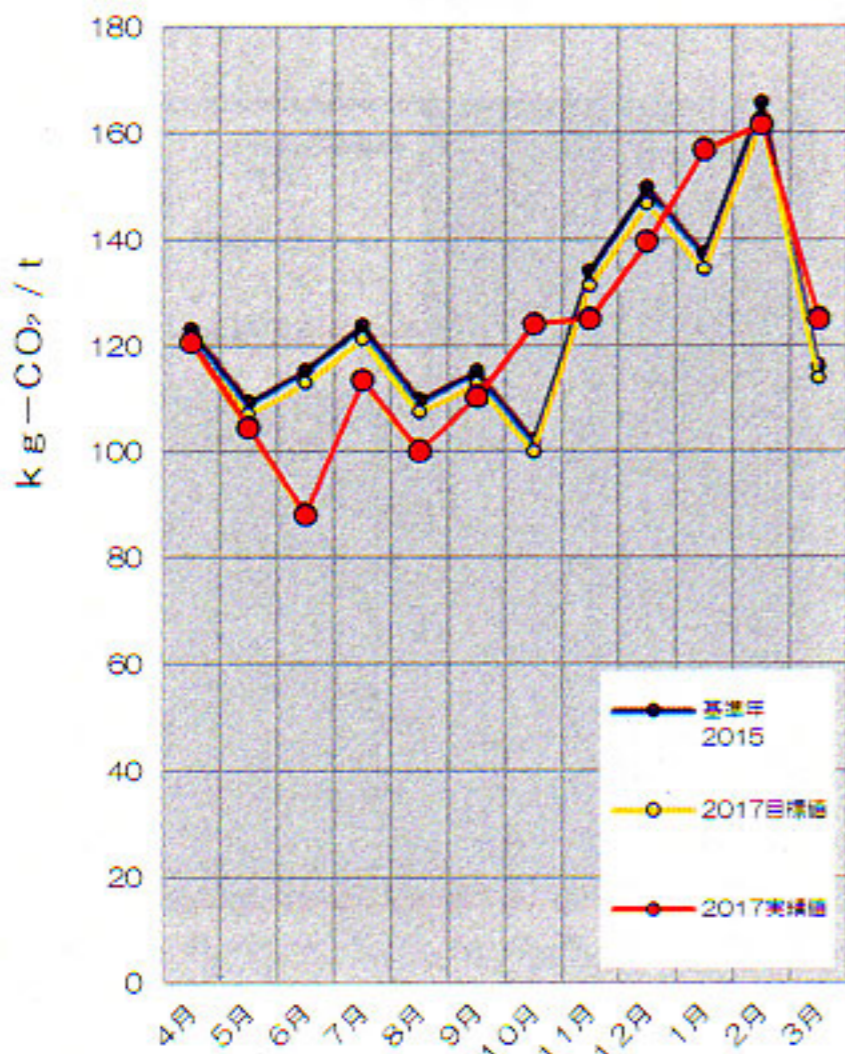
エアコンと2台の石油ストーブ(据え置き型と家庭用型)の対応が奏功している事と日中の人員出入りが以前より少ないことが要因。



評価
達成

一昨年10月より給湯器の出力調整で対応している。各人が意識して行動した結果だと感じる。

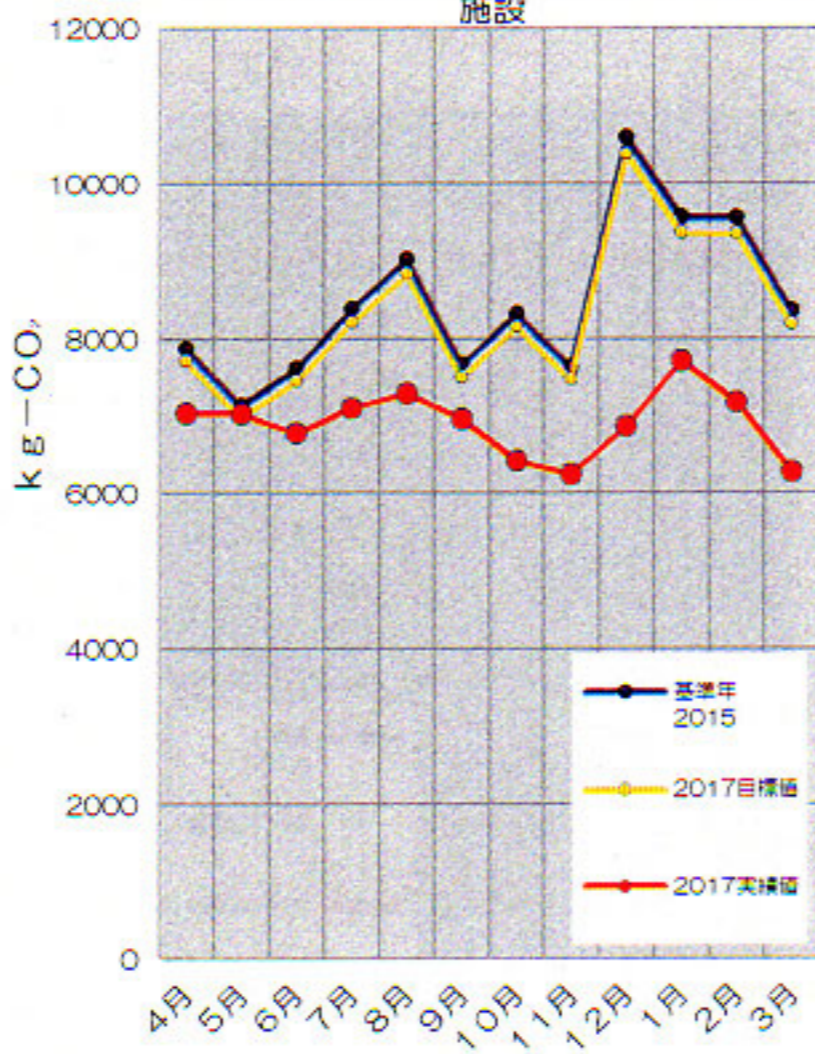
リサイクルにおける二酸化炭素排出量推移



**評価
達成**

従来は未達成が見られなかったが、ペットボトルの搬入制限が入った昨年10月より、ふた月に一度程度未達成である。これは、ペットボトルの生産性が良かった為と考察される。省電力で多くの生産物を生み出していたか。発泡の熱溶融器は、電力消費量に対して生産性が低いとするならば、更なる節電が必要か。

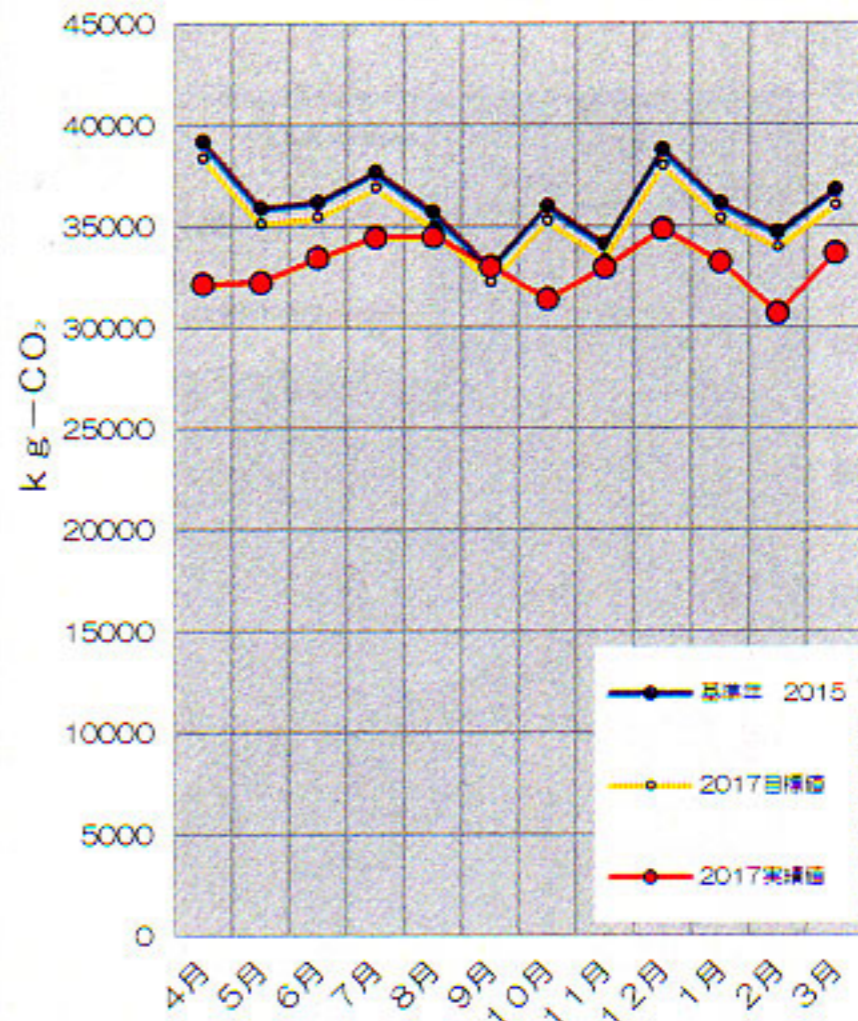
二酸化炭素排出量推移 事業本部中間処理施設



**評価
達成**

各施設の搬入量に応じた稼働ならびに、事務所の節電や給湯器使用制限が奏功している。

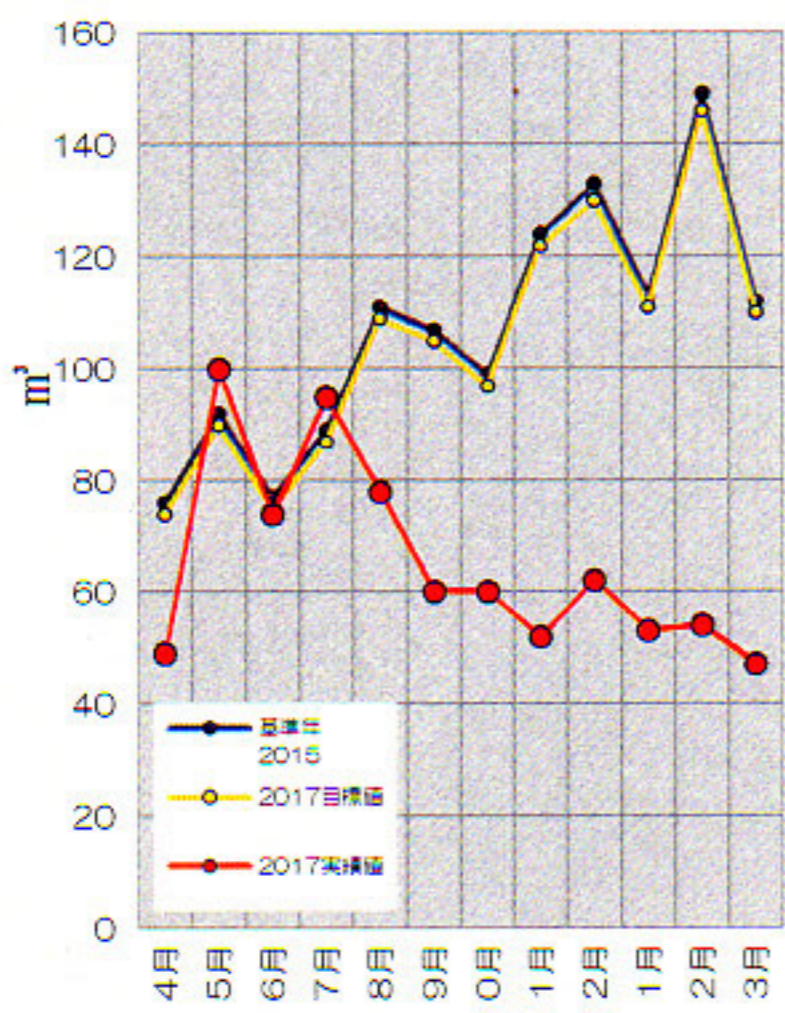
二酸化炭素排出量推移 赤沢駐車場



**評価
達成**

回収車両の軽油量を削減するのは日々の業務の為、難しいところもあるが電力量削減も含めての二酸化炭素排出量の削減が出来ている。

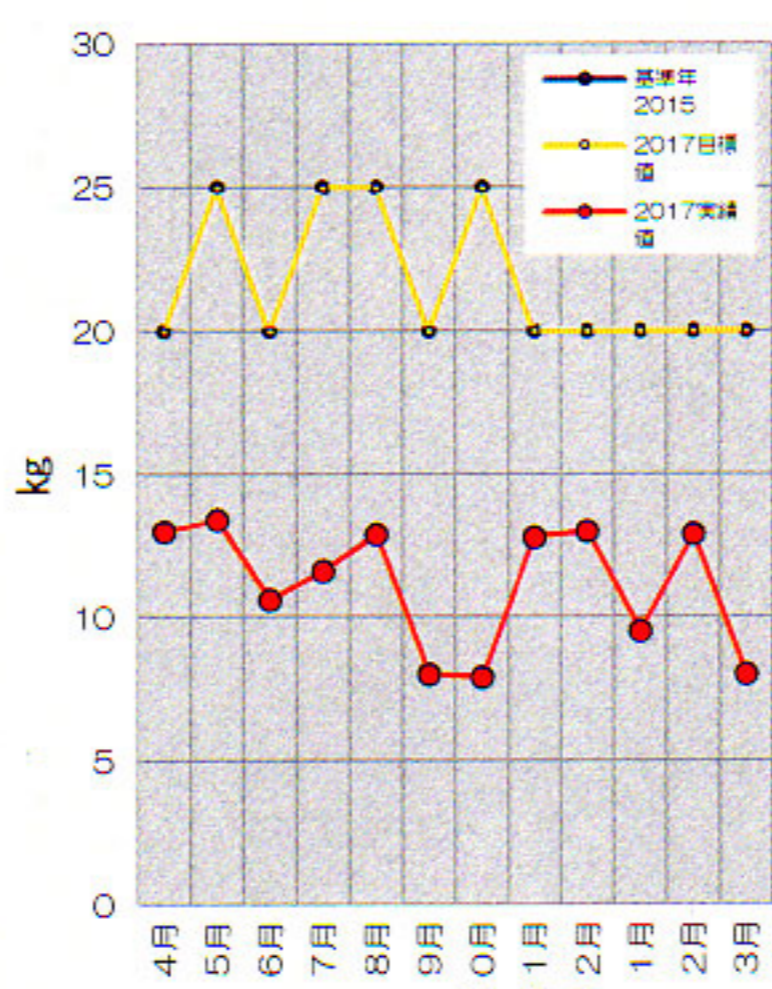
水道使用量



**評価
達成**

昨年比でペットボトル粉砕機稼働が約7割程度が要因か。

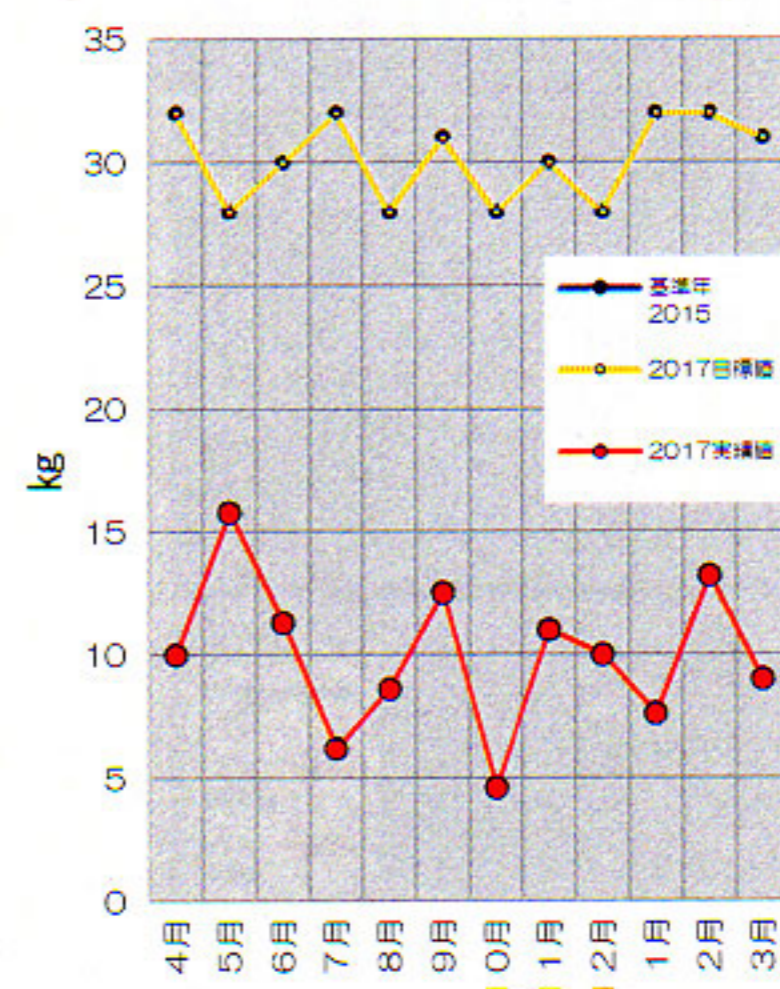
一般廃棄物排出量(可燃ごみ) 事業本部



**評価
達成**

各人の意識した行動が結果に繋がっていると感じる。

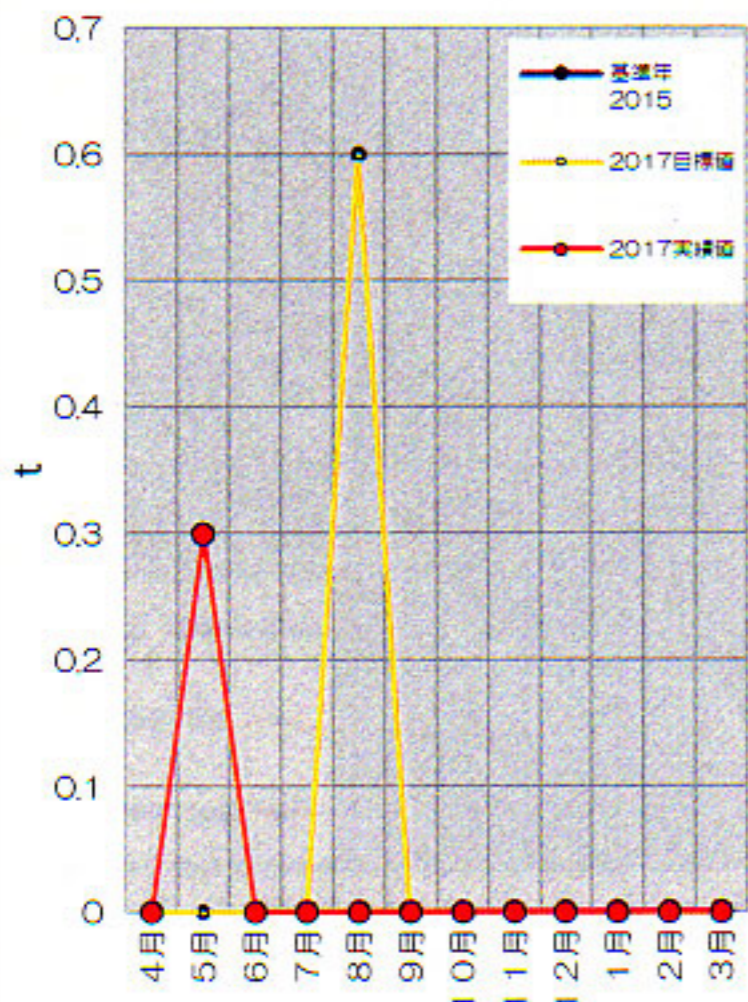
一般廃棄物排出量(紙ごみ) 事業本部



**評価
達成**

活動開始以来、目標値を下回っていることから、意識付けが出来てきたと推察される。

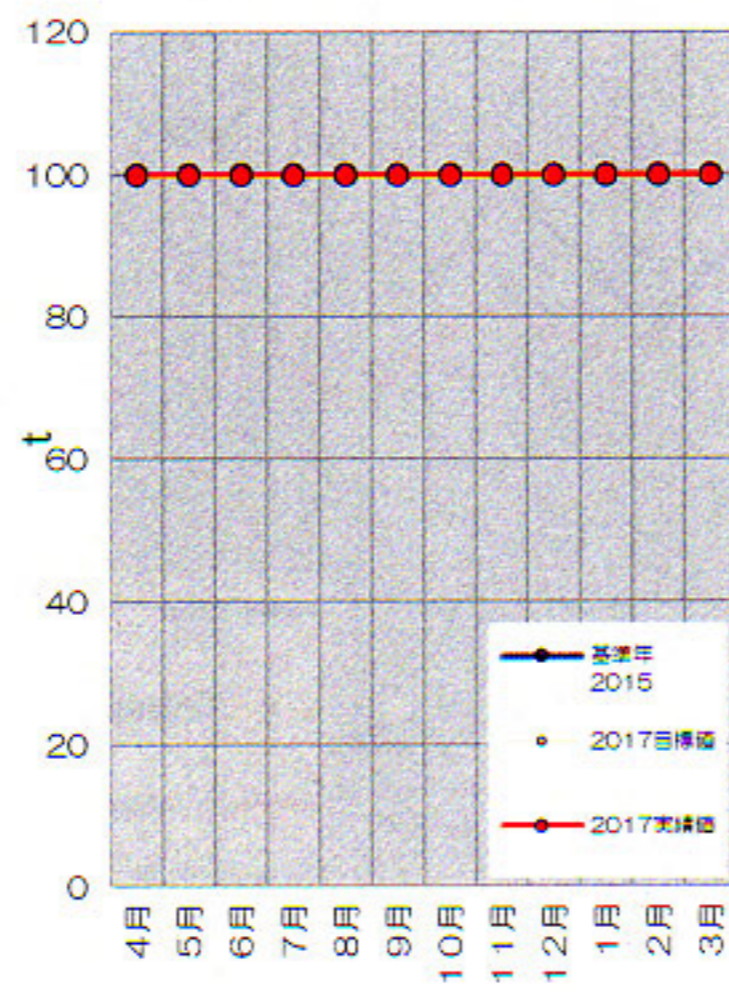
産業廃棄物 排出量 (廃エンジンオイル)



評価
現状維持

年一の回収サイクルの問題か。

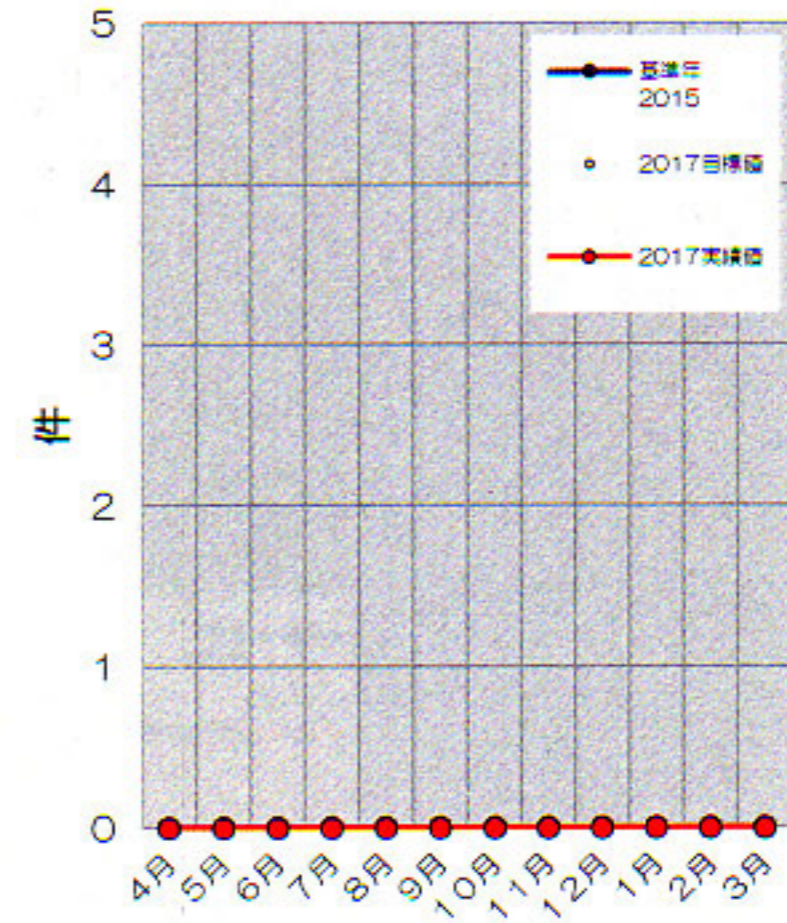
受託した産業廃棄物のリサイクル100%維持



評価
達成

中間処理におけるムリ・ムダの無い作業によるもの。

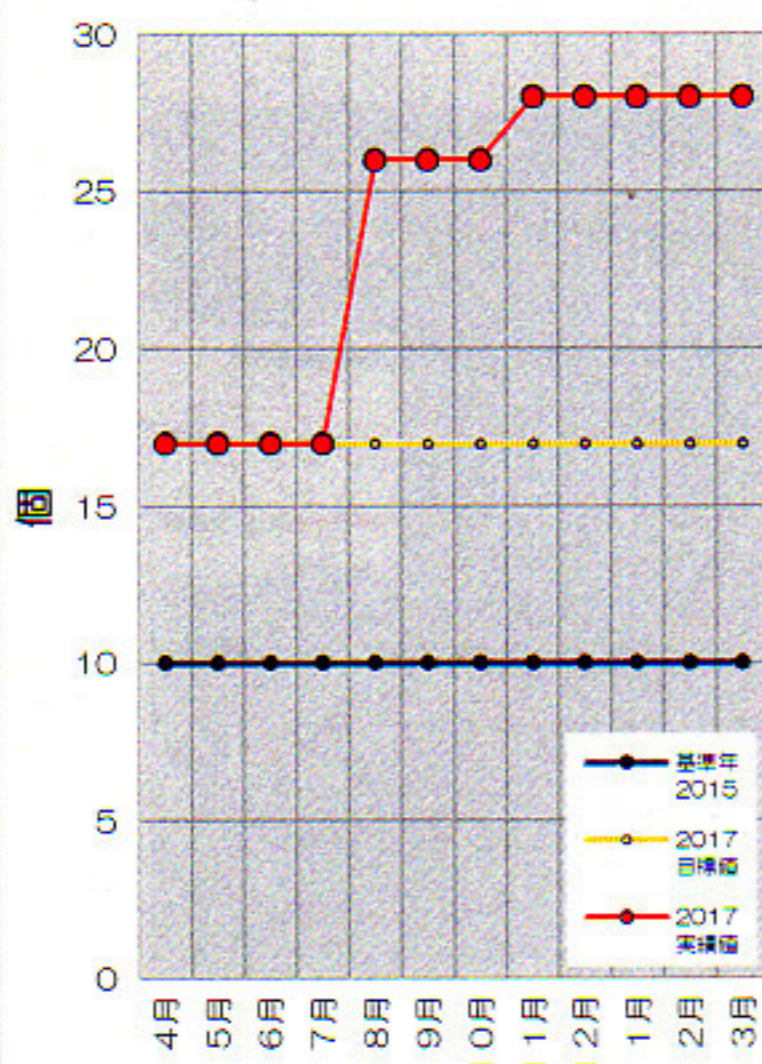
環境苦情



評価
達成

定期的な徹底した清掃活動によるもの。

グリーン調達



評価
達成

事務用品の詰め替え用もグリーン購入対象となるため、取扱い品数が徐々に増えている。

9 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける廃棄物処理法など、環境関連法規について遵守状況をチェックしたところ違反はありませんでした。

また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟等について、問題が有りませんでした。

10 代表者による全体評価と見直しの結果

2、代表者による見直し等の指示

見直し項目	評価	見直し指示
1 環境方針	継続的なエコアクション活動を通して各人には環境方針が浸透していると感じる。	環境方針の再確認を都度行うよう指示。
2 環境目標	具体的な目標数値に対して各人がコスト意識を持ち、目標に向かって同じベクトルで取り組んでいたと感じる。	目標値達成でもその数値の動向を先読みできるように指示。
3 環境活動計画及び環境経営システム	社内報で各月の環境活動達成状況報告を継続して行っている事を高評価する。	継続的な取組みを指示。
<p>全体評価 社内報で月単位の達成状況を社員に報告している事や、事務所・工場の節電ならびに駐車場でのムダなアイドリングをしていない運転手たちの姿を見ると、エコアクション21活動が社内に浸透してきていると感じる。今後も継続的に社員全員で、エコアクション21活動に取り組んでもらいたい。</p>		

上記のとおり指示します。平成30年8月10日

代表取締役社長 芦名 英樹

許可番号	許可年月日	許可期限	取り扱う産業廃棄物の種類 (石綿含有産業廃棄物を含む。廃プラ、金属くず並びにガラス陶磁器くずは自動車等破砕物を含む。)														
			燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物系固形不要物	動物性脂肪	ガラス陶磁器くず	金属くず	その他	ばいじん
0400007082	H26.3.13	H31.3.12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

許可番号	許可年月日	許可期限	取り扱う特別管理産業廃棄物の種類			
			廃油	廃酸	廃アルカリ	その他
00450007082	H27.7.5	H32.7.4	0	0	0	0

※4 廃発泡剤、灯油類及び軽油類に限る。
 ※5 pH2.0以下のものに限る。
 ※6 pH12.5以上のものに限る。

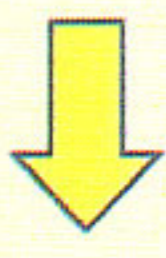
収集運搬車両/設備一覧

収集/運搬車両	設備
医療廃棄物専用収集車(保冷車)	2台 産廃 ダストバスケット集積用鉄箱 10個 【2.4m ³ 】
ユニック車 4t	1台 産廃 ダストバスケット集積用網張 60個 【2.4m ³ 】
ヒヤブ車 4t	1台 アームロール車用コンテナ・荷台 25台
ホイールローダ	1台 廃発泡スチロール溶融機(固定式) 2基
アームロール車 4t	4台 ペットボトル破砕機 1台
フォークリフト	1台 スチール缶・アルミ缶プレス機 2台
2tプレスバックカー車	1台 廃プラスチック類圧縮機 1基
4tダンプ車 (深ダンプ車)	1台 低公害車の導入を今後積極的に検討しております。
1t平ボディ	1台
4tプレスバックカー車	13台
大型プレスバックカー車	4台
ワンボックスバン	1台
平ボディ ホロ付	1台

設備名	能力・産廃の種類	台数
圧縮施設Ⅰ	4.08t/日 (0.51 t/時間) ・金属くず (空缶類に限る。)	1台
圧縮施設Ⅱ	1.28 t/日 (0.16 t/時間) ・金属くず (空缶類に限る。)	1台
圧縮施設Ⅲ	1.92 t/日 (0.24t/時間) ・廃プラスチック類	1基
破砕施設	2.4t/日 (0.3 t/時間) ・廃プラスチック類 (廃ペットボトル類に限る。)	1台
溶融施設Ⅰ	1.23t/日 (0.154 t/時間) ・廃プラスチック類 (廃発泡スチロールに限る。)	2基
溶融施設Ⅱ	1.2t/日 (0.15t/時間) ・廃プラスチック類 (廃発泡スチロールに限る。)	2基

発泡スチロール

搬入



選別



粉碎



溶融



インゴット



ペットボトル

搬入



選別



粉碎



洗浄・脱水



フレーク



空き缶

搬入



選別



磁選



圧縮

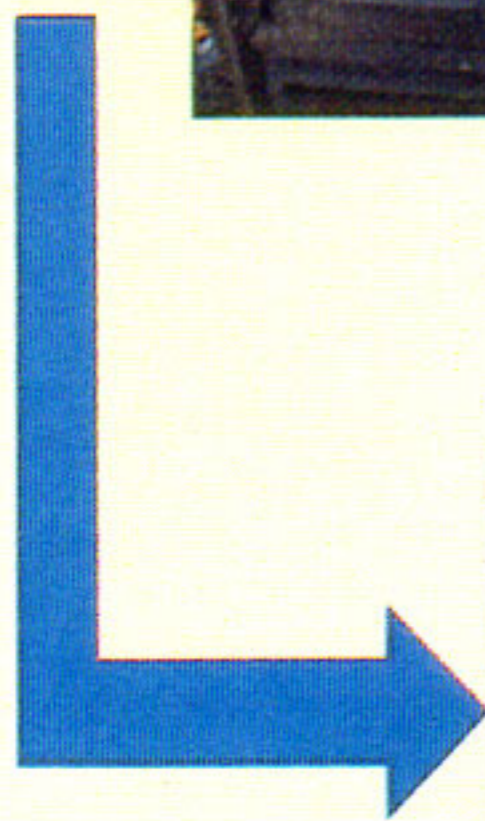


プレス品

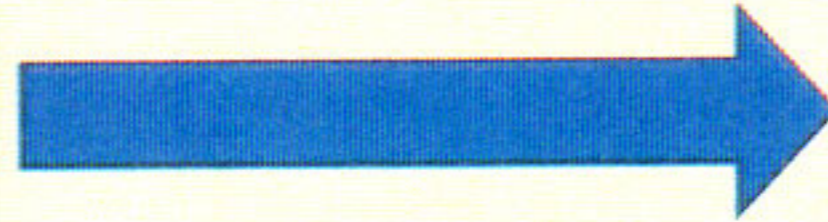


一斗缶・パール缶

投入



圧縮

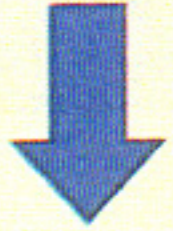


プレス品



廃プラ圧縮

搬入



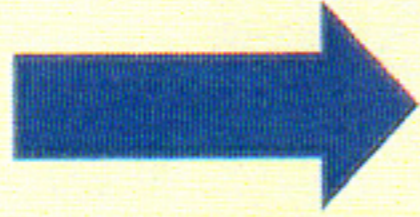
投入



圧縮



プレス品



受託した産業・一般廃棄物の処理量

2017年度

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 t	
収集運搬	一般廃棄物		6,013.15	
	汚泥		0.85	
	廃油		1.21	
	廃プラスチック		639.97	
	紙くず		0.00	
	木くず		26.56	
	繊維くず		0.00	
	動植物性残渣		5.64	
	金属くず		90.68	
	ガラス・セラミックス		173.57	
	がれき類		13.56	
	感染性廃棄物		45.63	
	廃酸		0.89	
	廃アルカリ		0.97	
収集運搬量合計			7,012.68	
中間処理	廃プラ(発泡スチロール)	溶融(産業廃棄物)	131.28	
	廃プラスチック(ペットボトル)	破碎(一般廃棄物)	152.33	
	金属くず(空缶類)	圧縮(一般廃棄物)	115.99	
	金属くず(空缶類)	圧縮(産業廃棄物)	66.40	
うち再資源化等	廃プラ(発泡スチロール)	溶融(産業廃棄物)	131.28	
	廃プラスチック(ペットボトル)	破碎(一般廃棄物)	152.33	
	金属くず(空缶類)	圧縮(一般廃棄物)	115.99	
	金属くず(空缶類)	圧縮(産業廃棄物)	66.40	
	再資源化等量小計		466.00	
中間処理合計			466.00	
最終処分				
			0.00	
最終処分量合計			0.00	
中間処理後の産業廃棄物	最終処分			
	再資源化	廃プラ(発泡スチロール)	溶融(産業廃棄物)	131.28
		廃プラスチック(ペットボトル)	破碎(一般廃棄物)	152.33
		金属くず(空缶類)	圧縮(一般廃棄物)	115.99
	金属くず(空缶類)	圧縮(産業廃棄物)	66.40	
	再資源化等量小計		466.00	
中間処理後処分量合計			466.00	

		単位	2015年	2016年	2017年
① 総エネルギー投入量	購入電力	MJ	1,300,391.04	1,160,962.32	960,223.89
	化石燃料	MJ	7,102,494.72	6,424,684.72	6,071,225.73
	新エネルギー	MJ	0.00	0.00	0.00
	その他	MJ	0.00	0.00	0.00
② 総物質投入量	資源投入量	t	0.00	0.00	0.00
	循環資源投入量	t	0.00	0.00	0.00
③ 水資源投入量	上水	m ³	1,282.00	914.00	784.00
	工業用水	m ³	0.00	0.00	0.00
	地下水	m ³	0.00	0.00	0.00
④ 温室効果ガス排出量	【二酸化炭素】	Kg-CO ₂	549,306.02	497,976.63	473,003.39
⑤ 化学物質排出量・移動量	大気への排出量	t	0.00	0.00	0.00
	公共用水域への排出	t	0.00	0.00	0.00
	土壌への排出	t	0.00	0.00	0.00
⑥ 総製品生産量又は	製品生産量	t	0.00	0.00	0.00
	環境負荷低減に資する製品	t	0.00	0.00	0.00
	容器包装使用量	t	0.00	0.00	0.00
⑦ 廃棄物等総排出量	一般廃棄物	t	0.26	0.18	0.13
	産業廃棄物	t	0.60	0.40	0.30
	循環資源	t	0.36	0.18	0.11
⑧ 廃棄物最終処分量	再生利用	t	0.00	0.00	0.00
	熱回収	t	0.00	0.00	0.00
	単純焼却	t	0.00	0.00	0.00
	その他	t	0.00	0.00	0.00
	最終処分量	t	0.00	0.00	0.00
⑨ 総排水量	公共用水域	m ³	0.00	0.00	0.00
	下水道	m ³	1,282.00	914.00	784.00